

学校だより

翔 空

No. 4 1 平成 2 5 年 1 月 2 9 日 (火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【名言・格言 第4弾】

今回紹介する名言は、昭和を代表する軍人山本五十六の言葉です。

「やってみせて、
言ってみせて、
やらせてみて、
ほめてやらねば
人は動かじ。
話し合い、耳を傾け、
承認し任せてやらねば、
人は育たず。
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、
人は実らず。」

この言葉は、日本帝国海軍の軍人山本五十六が、特に愛した言葉です。彼は、連合艦隊司令長官を務め、日独伊三国軍事同盟や日米開戦に最後まで反対していたといわれています。

もう一つ、彼の名言を挙げるなら、

「いまの若い者は」などと、口はばたきことを申すまじ。実年者は、今どきの若い者などということ絶対には言わない。なぜなら、われわれ実年者が若かった時に同じことを言われたはずだ。今どきの若者は全くしょうがない、年長者に対して礼儀を知らぬ、道でも挨拶もしない、いったい日本はどうなるのだ、などと言われたものだ。その若者が、こうして年を取ったまでだ。だから、実年者は若者が何をしたかなどと言わない。何が出来るか、とその可能性を発見してやってくれ。

本当におもしろいですね！

節分の儀とは？

～そして、邪気を払うとは～

節分までおよそ1週間となりました。過日、大雪に見舞われ、どこのご家庭でも雪かきに追われ、大変な週末であったとお察し申し上げます。

私の住む猪苗代も先週金曜日の夕方からの大雪によって、土曜日の朝に40cm、追い打ちをかけるように日曜日の朝までに、さらに50cmと、合計でおよそ80～90cmほど雪が積もりました。大変なのは雪の処分です。雪が降らなければ、何らやることもない雪かきという仕事が発生し、大変なことになります。家が潰れないようにするためにも必要です。体中の節々が痛くてたまりません。みなさんはどうですか？

さて、2月3日の節分の日ですが、この日は、どこのご家庭でも豆まきをして「鬼(邪気)」を払います。豆まきには悪魔のような鬼の目「魔目〔まめ〕」にめがけて豆を投げれば「魔滅〔まめ〕」すなわち魔が滅するという意味があると考えられています。これら鬼の意から、豆は鬼を払う道具であるが、鬼そのものにとらえられていたようでありながら、鬼の節分の際には鬼である豆を家の外に投げながら「鬼は外」と唱えます。豆の他に、鬼を払うため鬼が嫌う糞〔ひいらぎ〕の枝に鰯〔いわし〕の頭を刺したものを戸口に立てたり、炒った大豆を年の数だけ食べる習慣が今も続いている地域があります。節分の鬼は「毛むくじゃらの皮をしており、筋肉質で丑寅〔うしとら〕の方角から来る」などと言われています。ちなみに、英語では豆まきの際に、何と叫ぶかと言えば、

In with good luck,

Out with bad luck! (Happiness in, demons out!)

などが考えられます。ぜひ邪気を払って下さい。3週間ほど前から、郡山市でも流行しているインフルエンザ。本校でも、今までに7名ほど罹患しています。「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」が再登校の条件となりました。今月31日県立I期入試を受けるお子様にとっちは、気が気ではありません。細心の注意を払い、健康な生活を保護者の方も、部活動後の汗など十分に注意させて下さい。



